



### 雪中の出初式 魅せた火消しの心意気



家庭のできる節電、7つのポイント

- こまめにスイッチオフ  
スイッチオフで電気使用は必要最小限に
- 待機電力を削減  
使用していない場合にも電力が消費される待機電力を削減
- エアコンで節電  
設定温度・風向きを調整して節電
- 冷蔵庫で節電  
扉の開閉時間を短く、詰め込む量も考えて節電
- 照明で節電  
明るさや点灯時間を調整して節電
- テレビで節電  
主電源OFF  
明るさを調整して節電
- 他にもこんなところで節電  
炊飯器の保温を控えて、ご飯はレンジで温めましょう  
電気ポットの保温を控えましょう  
温水洗浄便座の使用を控えましょう  
使用する場合は設定温度を低めに設定しましょう  
エコクッキングで省エネ  
炎がはみださない火加減で、鍋にはふたをしましょう

東日本大震災の影響により、電力供給がきわめて厳しい状況は今も続いています。私たち一人ひとりでもすぐに支援・協力できることはたくさんあり、その一つが節電です。ぜひともご理解・ご協力をお願いいたします。



## 二十歳の誓い

(成人式：河北台中学校講堂)

### 議会：市民アンケート費 新化館耐震 大規模改修費など 補正予算可決

CONTENTS		
平成23年 第4回 定例会		2
平成23年 第4回 臨時会		6
一般質問(5人が登壇)		7
常任委員会レポート		12
視察レポート		15
議員が走る 他		18

### 編集後記

昨年、委員会で愛知県大口町議会広報を視察しました。良い企画・記事は積極的に取り入れようと、新企画として「議員が走る」と「編集後記」を取り入れることにしました。議員が走るでは今回、若者マイホーム取得奨励金制度を利用して、かほく市に転入された方を紹介しています。

編集委員が持ち回りで担当し、市民の皆さんに、より一層親しんでいただける議会だよりを作って行こうと確りしました。(多々見邦次)



### 次定例会は2月27日からです。 議事を傍聴しませんか

本会議・常任委員会などを傍聴できます。一般質問は3月6日です。議会は身近なものです。どのような議論が交わされているのかぜひ傍聴においでください。本会議は30名、常任委員会・全員協議会は8名の定員で受付順となります。本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。

市が運営する「かほくチャンネル」では、地域に密着した情報をたっぷり放送しています。



# 平成23年 第4回 定例会

会期 / 12月6日 ~ 12月21日

平成23年12月6日から16日間の会期で第4回定例会が行われ、平成23年度一般会計補正予算など14議案について審議し、原案のとおり可決した。  
追加議案1件についても原案のとおり可決した。



## (仮称)七塚中央統合保育園 12月19日より部分開園

23年度一般会計補正予算 (第5号)

**体育施設整備5千5百万円計上**  
歳入歳出それぞれ2千200万円を増額するもの。  
(賛成16・反対1)

### 歳入の主な内容

地方交付税 9千527万円を減額  
普通交付税3億8千2万円を増額  
国庫支出金(国から) 市債(借入金)  
社会資本整備総合交付金 七塚中央統合保育園建設事業債870万円、道路新設改良事業債210万円を増額  
子ども手当負担金7千816万円を減額  
児童福祉施設整備費補助金296万円、子ども手当システム改修費補助金490万円、地域環境保全対策費等補助金680万円、その他140万円を増額  
子ども手当負担金111万円を減額  
繰入金  
財政調整基金繰入金2億

### 歳出の主な内容

議会費 市民アンケート実施152万円を増額  
総務費 若者マイホーム取得奨励金900万円、その他145万円を増額  
民生費 保育園一般管理費283万円、(仮称)七塚中央統合保育園用地購入費923万円、AED等備品購入(学童保育クラブ・児童館)363万円、子ども手当給付システム開発委託490万円、その他156万円を増額  
衛生費 特定不妊治療費助成金15万円、廃棄物収集運搬処理委託680万円、その他47万円を増額  
農林水産業費 戸別所得補償制度推進事業補助金37万円、その他78万円を増額  
商工費 産業文化センター警備委託44万円を増額  
土木費 除雪対策事業190万円、道路新設改良事業750万円、その他137万円を増額  
道路橋りょう総務事務費 250万円、橋りょう維持管理事業190万円を減額

### 特別会計

消防費 消防団員福祉共済防災保険料19万円を増額  
教育費 中学校総合管理費100万円、大会出場派遣費補助金130万円、公民館耐震・大規模改修設計管理委託(外日角・白尾・内日角)360万円、新化館耐震大規模改修4千430万円、宇ノ気陸上競技場ハンマー囲い修繕200万円、高松野球場・宇ノ気野球場・金津ソフトボール場改修設計委託900万円、4体育館バスケストライイン書換200万円、その他66万円を増額  
災害復旧費 農地・農業用施設災害復旧事業(上田名地内・長柄町地内・北部農免道路・長柄用水)186万円を増額  
特別職人件費 特別職人件費2万円を減額  
職員人件費 職員人件費1千201万円を減額

### 条例改正

税条例等の改正 地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、寄附金税額控除の適用下限額の引き下げを

若者のマイホーム取得、応援します！  
最大100万円の支援があります。



石川県市町村消防賞しゅ  
つ金組台規約の変更につい  
て

石川県市町村職員退職手  
当組合規約の変更について  
当組合の構成団体である  
「野々市町」が平成23年11  
月11日をもって市制を施行  
し、「野々市市」に名称を変  
更したことに伴い、「石川  
郡野々市町」を「野々市市  
」に、「白山石川広域事務組合  
」を「白山野々市広域事務組  
合」に名称を変更するため、  
改正を行うもの。  
(以上7件、全員賛成)

### 追加議案

一般会計補正予算  
(第6号)  
歳入歳出をそれぞれ8千  
886万円を増額するもの。  
(全員賛成)

### 請願・陳情

【採択】  
看護師等の大幅増員と夜  
勤制限で安全・安心の医療・  
介護の実現を求める請願  
「介護職員待遇改善交付  
金事業」を平成24年度以降  
も継続することを求める請  
願  
治安維持法犠牲者への国  
家賠償を求める意見書の提  
出を求める陳情  
(以上3件、全員賛成)

算措置を講じるものであり、  
工事を進めるもの。

施設の概要については

旧大海公民館跡地及び旧横  
山保育園跡地の二箇所にお  
いて、防災資材倉庫、除雪  
車格納庫及びひかく市消防  
団高松第一分団、宇ノ気第  
三分団の車庫機能等を有し  
た防災拠点施設を整備する  
もの。  
本体工事の完成が平成24  
年度となるため、あわせて  
繰越明許費補正を行うもの。

第4回定例会において提出された議案に対し、  
1議員が反対、2議員が賛成の討論を行なった。

## 質疑・討論

### 公務員の賃金引下げに伴う補正予算及び 市税条例等の一部を改正する条例に対して

#### 反対討論

公務員の賃下げ・  
税条例に反対  
高橋成典議員  
この間の地域最低賃金の大幅  
引き上げを求める全国の  
運動に逆行するものであり、  
反対する。  
市税条例等の一部を改正  
する条例は、国の地方税法  
の改正により、証券優遇税  
制の2年延長に伴う措置で  
ある。  
100万円以上の株式配  
当所得にかかる税率を本来  
の5%から3%に軽減する  
のは大資産家優遇である。  
国会でも、東日本大震災  
の復興にあたっていているとき  
に、株式売買に大金をつぎ  
込める資産家には減税し、  
庶民には消費税の増税を強  
いるのか、との批判の前に  
野田総理ですら「さらに延  
長することはない」と答弁  
せざるをえないほど、批判  
が集中しているものである。  
こつした大金持ち優遇の  
税条例改正には反対する。

#### 賛成討論

議案すべてに賛成  
金子猛議員  
補正予算では子ども手当  
給付費の減額のほか、新化  
館や野球場など体育施設の  
整備費と廃棄物収集運搬処  
理委託費の追加額が主であ  
る。

#### 賛成討論

高橋議員の討論は  
「条例に従わない」  
との表明である  
安達肇議員  
11月30日に臨時議会が開  
かれ、人事院勧告に伴う一  
般職の給与条例を改正する  
議案が審議され、採決行っ  
前に、高橋議員と私が討論  
を行った。(6頁)その結  
果、賛成多数で可決された。  
本定例会では、その可決  
された条例に従って提出さ  
れた補正予算を審議するも  
のであり、再びその条例を  
審議するものではない。  
従って先程の高橋議員の  
補正予算に反対する  
討論は、言い換えれ  
ば、条例に従うべき  
ではないと表明した  
ことになる。自分の  
意見に賛同を求める  
ための討論であるか  
ら、他の議員にも条  
例違反を勧めたもの  
となる。条例違反を  
勧めるような討論は  
法治国家において行つべき  
行為ではない。

高橋議員は、条例違反を勧誘  
するものではない。  
そのほか条例改正議案に  
ついては、国の法令改正に  
伴うものである。  
公共施設の再編により名  
称を変更するものである。  
いづれも明確な理由があ  
り、すべて異議なく賛成す  
る。

## 意見書

### 看護師等の大幅増員と夜勤制限で安全・ 安心の医療・介護の実現を求める意見書

長寿世界一を誇る日本の医療は、長年にわたる  
社会保障費抑制政策のもとで、医師、看護師など  
の懸命な努力によって支えられてきた。

しかし、医療現場は、長時間・過密労働に加え、  
医療技術の進歩や、医療安全への期待の高まりな  
どで、看護師などの労働環境は厳しさを増し、  
離職者も多く深刻な人員不足で、努力だけでは限  
界にきている。

安心・安全の医療・介護実現のために、看護師  
など夜勤交替制労働者の大幅増員と労働条件の抜  
本的改善は不可欠であり、医療・社会保障予算を  
先進国並みに増やし、国民が安心して暮らしてい  
ける制度が求められている。

- 1 看護師などの夜勤交替制労働者の勤務条件の  
改善を図ること。
- 2 医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、  
医師、看護師、介護職員等を大幅に増やすこ  
と。
- 3 国民の負担を減らし、安心・安全の医療・介  
護を実現すること。

提出議員 高橋成典  
賛成議員 別宗明敏  
西田正剛  
(全員賛成)

## 意見書

### 介護職員処遇改善交付金事業の継続を求 める意見書

超高齢化社会を迎え、介護職員の離職は高く、  
介護職員の不足は深刻である。平成21年度に厚生  
内閣により創設された介護職員処遇改善交付金事  
業は、本年度末で終了する予定である。

現在、厚生労働省において来年度の介護報酬改  
定にあたり、介護職員処遇改善交付金事業の継続、  
もしくは、その他、処遇改善に相当するものを検  
討している。

よって、国会及び政府に対し、介護職員処遇改  
善交付金事業を平成24年度以降も継続するよう強  
く要望する。

提出議員 西田 正剛  
賛成議員 別宗 明敏  
多々見 武  
(全員賛成)

## 意見書

### 治安維持法犠牲者国家賠償法の制定に関 する意見書

1925年に制定された治安維持法により、戦  
前の軍国主義政治のもとで主権在民、民主主義、  
侵略戦争反対などを唱えたことを理由に、多くの  
人たちが弾圧され、犠牲となった。治安維持法が  
廃止されるまでの20年間に逮捕された人は数十万  
人、送検された人は7万5千人余、拷問により虐  
殺された人や獄死した人は2千人に上っており、  
石川県でも200人以上の人が検挙されている。

わが国では、戦後、治安維持法が人道に反する  
悪法として廃止され、この法律によって処刑され  
た人々は無罪とされたが、しかし、これまでの歴  
代政府は何ら補償措置をしていない。  
ドイツでは、「戦争犯罪人と人道に反する罪に  
時効はない」という国際法に基づき、今も戦犯を  
追及し、犠牲者に謝罪と賠償を行っており、イタ  
リアでも国家賠償法を制定し、犠牲者に終身年金  
を支給している。治安維持法の制定から85年が経  
過し、生存する犠牲者はわずかとなっている。

提出議員 多々見邦次  
賛成議員 寺内 照雄  
坂井 正毅  
(全員賛成)

# 一般質問

## 防災行政無線の備えは万全か 個々に対応して調整する

○ 防災行政無線による避難訓練が行われたが、問題点がいくつか浮かび上がったのでは。  
 ▲ 油野市長 9月25日の防災訓練をはじめ、11月9日の火災予防週間での啓発、12月1日の緊急地震速報訓練などを実施してきた。  
 町会区長会の皆様からアンケート調査をし、問題点を洗い出した。

### 防災無線の問題点を問う

結果全体の3割弱の地区で放送が聞きにくいことや、地形や風向きにより共鳴し、騒音などが大きな建物の影になって、聞きづらい場所が点在することが分かった。  
 今後は、スピーカーの方向ならびに音の出力ワット数の変換などについては、個々に対応し調整する。



多々見邦次議員



難聴者のための「文字表示装置付き個別受信機」

○ 難聴者に対する対応はどのように考えているのか。  
 ▲ 市長 市の身体障害者部会及び関係機関と協議し、文字表示装置付き個別受信機をすでに10台配置済みである。  
 ● カラスの糞対策はカラスが群れを作らないよう対策  
 ○ 高松市内(南部)の国道159号線 歩道のカラスの糞害がひどい。  
 再三再四質問して改善されたと言っていたが、ねぐらを高松インター付近に移動している。  
 今後の対策をどのように考えているのか。

○ 難聴者に対する対応はどのように考えているのか。  
 ▲ 市長 市職員がパトロールを行い、爆竹やロケット花火などを使用し、カラスの群れを追い払う対策を進めてきた。  
 また、関係機関の北陸電力や、国土交通省にお願いし、散水車での清掃をお願いしている。  
 しかし、決定的な対策は難しく、新たな被害の懸念もあり、今後も関係機関と連携しながら、カラスが群れを作らないよう対策を進めて行く。

# 議会報告

- 会期 11月30日 -

## 平成23年 第4回臨時会

職員給与に関する条例改正案について審議し、原案のとおり可決した。

### 条例改正

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

本年度の人事院勧告に伴い改正するものであり、東日本大震災の影響により、例年より一か月遅れの勧告となった。

本年度の勧告の内容は、昨年に引き続き厳しい経済雇用情勢が民間給与に反映されていることを受け、月例給において公務員給与が民間給与を上回っていることから、月例給の給料表の引き下げを昨年に引き続き民間との給与較差が拡大している50歳代を中心に、40歳台以上を念頭に置き、給料月額を引き下げるものとなっている。

改正内容は、一般職の職員の月例給について、給料月額を最大50歳台で0.5

%、40歳台で0.4%引き下げるとともに、平成23年4月から11月末までの期間に係る較差相当分を12月期の期末手当の額で減額調整するものである。

(賛成16・反対1)

## 質疑・討論

第4回臨時会において提出された議案に対し、1議員が反対、1議員が賛成の討論を行なった。

### 一般職の職員の給与を引き下げる条例に対して

#### 反対討論

給与引き下げに関する条例改正に反対

高橋成典議員

国民の生活と権利 安心・安全を守るために公務・公共サービスの拡充こそが求められている。しかし政府は、大企業には減税する一方、復興財源として国民負担を押し付ける増税を画策し、その露払いに公務員総人件費の削減を狙っている。これは大震災復興に向けた公務員労働者の奮闘に背を向ける賃下げ勧告であり、東日本大震災からの復旧・復興に全力で奮闘を続けている公務員労働者に対し、「民間準拠」を唯一の根拠とした3年連続の月例給引き下げなど、賃金の大幅削減は反対である。

#### 賛成討論

人事院の勧告は公務員の利益を守るため、下げる時だけの勧告無視は利益にならない。

安達肇議員

公務員は、団体交渉権などが制限されており、労使交渉での給与決定ができない。その代償として、公務員の利益を守るため、給与水準を民間企業と均衡させる人事院勧告がある。

民間企業との均衡では、上がるだけでなく、下がることもある。上げる時は勧告に従い、下げる時には従わないのでは、将来にわたる公務員の利益を確保できない。勧告に従い、条例を改正するべきである。

#### 労働基本権制約の代償措置

また、職員の給与を引き下げるにより、市の財政に余裕ができ、その分が市民のために使われることから、経済対策にも効果があり、賛成する。

# 一般質問

## 七塚観光株の債務補償は遺憾だが、最善の策

七塚観光株の社長である市長が責任をとらないのは何故か。キーテナント社長が、帯保証人を外れているが、これは何故なのか。

油野市長 七塚観光の損失補償は、遺憾に思っています。

これまで、様々な場面で説明してきたが、議会や市民の皆様は心配とご迷惑をかけた。改めてお詫びを申し上げ



高橋成典議員

る。が、補償は最善の策である。キーテナント社長の離任は金融機関が判断した



債務処理した七塚観光株

など目的に応じた各種支援制度を引続き実施する。

国保税の高校生未満の均等割は廃止せよ

羽咋市など県内4市町では原発事故に備え「ヨウ素剤」を学校や保育所などに配備している。市でも配備をせよ。

羽咋市など県内4市町では原発事故に備え「ヨウ素剤」を学校や保育所などに配備している。市でも配備をせよ。

市役所では市独自の非正規職員の待遇を改善せよ。

市役所では市独自の非正規職員の待遇を改善せよ。

市役所では市独自の非正規職員の待遇を改善せよ。

市役所では市独自の非正規職員の待遇を改善せよ。

市役所では市独自の非正規職員の待遇を改善せよ。



安達肇議員

11月に、「原子力安全委員会」から「防災対策を重点的に充実すべき地域」(EPZ)の見直しが示された。従来の指針では、原子力発電所から約10kmであったが、今回示された考え方は、EPZに代えて、直ちに避難を実施する「予防的防護措置を準備する区域」(PAZ) 概ね5kmと、事故の発生に応じて、避難屋内退避、安定ヨウ素剤の

予服用等を準備する「緊急時防護措置を準備する区域」(UPZ) 概ね30kmの2つが設けられた。そこで、当市はUPZの範囲に含まれるのか。また、UPZの区域ならば、原子力安全協定への参加や、地域防災計画の見直しなど、市民の安全を守るため、どのような対応を考えているのか。



PAZ: 予防的防護措置を準備する区域 5km  
UPZ: 緊急時防護措置を準備する区域 30km  
PPA: プルーム通過時の被爆を避けるための防護措置を実施する地域 50km

油野市長 UPZの範囲については、二ツ屋区の一部、国道159号の大海川橋からかほく市側へ約1000mの地点までが範囲内になると認識している。一部の地域ではあるが、国が示すUPZの範囲内であることから、志賀原発との安全協定についても何らかの関わりが出てくるものと考えており、UPZの範囲に含まれる関係自治体と連絡調整を図りつつ対応していきたい。地域防災計画の見直しについては、県は、国の防災基本計画の改定作業に合わせ、明らかにした部分から地域防災計画に反映させる作業を進めるとのことであり、市も、県と同様、地域防災計画の見直しを進め、国や県の見直し内容の情報を逐次把握するとともに、関係機関とも協議しながら、見直し作業に向けて遅れることなく準備を進めていきたい。

### 原子力安全協定へ参加の方向

国が示すUPZの範囲内であることから、志賀原発との安全協定についても何らかの関わりが出てくるものと考えており、UPZの範囲に含まれる関係自治体と連絡調整を図りつつ対応していきたい。地域防災計画の見直しについては、県は、国の防災基本計画の改定作業に合わせ、明らかにした部分から地域防災計画に反映させる作業を進めるとのことであり、市も、県と同様、地域防災計画の見直しを進め、国や県の見直し内容の情報を逐次把握するとともに、関係機関とも協議しながら、見直し作業に向けて遅れることなく準備を進めていきたい。

地域活動活性化への対応は 地域リーダーとなる人材育成に取り組む 「市民との協働」を実践していくためには、行政だけでは対応できないニーズを補完する、地域活動の活性化が鍵となってくるが、役員の担い手不足など様々な課題を抱えている。

相違を特性として活かす 今後、さらに地域の組織や活動を活性化させるには、地域活動を支える人づくりが欠かせないと考えており、平成24年度から地域のリーダーとなる人材育成に取り組むことを検討している。

### 旧3町で異なる公民館活動は

旧3町で異なる公民館活動は、旧3町の各地区において大きく異なった位置づけと形態のなかで、各々の地区の運営方法で活動が行われており、それぞれ

旧3町で異なる公民館活動は、旧3町の各地区において大きく異なった位置づけと形態のなかで、各々の地区の運営方法で活動が行われており、それぞれ

# 一般質問

## 原子力災害対策における、地域防災計画の見直しは国や県の情報を把握し、見直し作業の準備を進める

# 一般質問

## マイクロ水力発電（小水力発電）に取り組む考えは 立地条件、水利権などを考えると非常に難しい

● 自然エネルギーを利用したマイクロ水力発電（小水力発電）に取り組む考えは、  
 ▲ 油野市長 県内の水力発電設置状況は、北陸電力㈱1件、金沢市1件、土地改良区が3件ある。その内、マイクロ水力発電を取り入れているのは野々市市にある富樫用水マイクロ発電所の1箇所である。  
 実証実験の段階であり、導入にあたっては、年間を通じて一定以上の水量の確保、立地条件、河川や用水における水利権の関係、設置後の維持管理面など、多様な課題を考慮すると、市におけるマイクロ水力発電の導入については非常に難しい。  
 まだ、小規模水力発電は



遠田 順 議員



農業用水を利用したマイクロ水力発電（栃木県百村）

「認定こども園」  
 設置の考えは  
 国の動向を注視して検討する  
 ● 2013年度から「こども園」の指定基準や「総合施設」の認可基準に関する考え方を現行の幼保連携型「認定こども園」の基準ベースに制度設計するが、市において「認定こども園」の設置の考えは、  
 ▲ 市長 「認定こども園」は、県内では、金沢市、七尾市、輪島市、羽咋市の4市において設置されている。しかし、普及が進まない状況となっている。  
 その背景には、認定こども園へ移行するための財政支援が不十分な事や、省庁間・自治体間の連携が不十分であるなどの課題が指摘されている。  
 「子ども・子育て新システム」については、幼児教育と保育をともに提供する「こども園」に一本化する新制度を、平成25年度から開始する。  
 引き続き国の動向を注視していききたい。  
 市として、現在行っている保育サービスが低コストのないよう、子育て環境の更なる向上に努める。

育と保育をともに提供する「こども園」に一本化する新制度を、平成25年度から開始する。  
 引き続き国の動向を注視していききたい。  
 市として、現在行っている保育サービスが低コストのないよう、子育て環境の更なる向上に努める。



猪村 博 靖 議員

### 市政運営の総括を

● 市政運営8年間の総括を市長自らしていただきたい。  
 ▲ 油野市長 一貫して「住みよいかほく市」の実現を目指し、全身全霊を傾けて市政運営に取り組んできた。  
 一期目の公約は市民の皆様との約束であり、実現できたもの、方向転換せざる

を得なかったものなどがあつたが、一歩ずつ取り組んだ。二期目には、「新たな取り組みと未来への投資」を重点施策の一つに置き、さまざまな事業を積極的に推進した。  
 その結果、経常収支比率、実質公債比率とも改善され、満点には及ばないが財政の健全化についてもよい結果を残せた。  
 その役割を是非、務めさせていただきたい。

### 理想の「かほく市」像は

● 油野市長が描く理想の「かほく市」像とはどんなものか。それを実現するためにも、三月に予定される次期市長選挙に出馬する意思はあるか。  
 ▲ 市長 多岐にわたる課題に真正面から挑んできたが、時の流れの速さの中では、まだ道半ばの取り組みもある。「真に足腰の強い、持続可能なかほく市」を目指すために、「市民との協働によるまちづくり」を推進しなければならぬ。  
 「市民が誇りをもてる元気なかほく市」、「住みよさを実感できる、これからも住み続けたいと思えるかほく市」の実現のために全力を尽くす覚悟である。

市民との協働によるまちづくり

市民が誇りをもてる元気なかほく市

住みよさを実感できる、  
 これからも住み続けたいと思えるかほく市へ



# 一般質問

## 次期市長選への出馬意思を問う 引き続き、市長としての役割を務めたい

# 総務常任委員会

若者マイホーム取得奨励金事業・子育て支援策を含めた総合力で定住促進

## おもな質疑

寺内委員 (所管事項含む)  
定住促進事業で平成23年度予算で72件を見込んでいたが実績は85件と伸びている。

しかしながら、人口はマイナスになっている。  
若者マイホーム取得奨励金事業を平成24年度、25年度と継続することだけで人口減に歯止めがかかると思うか。

大西企画情報課長

国勢調査のときにも報告したが、社会動態はかなり踏ん張っているが、亡くなる方よりも出生者数が下まわり減少するということが、トータルで人口減ということになっていて。

新婚さん住まい応援事業を実施して、定住促進、子育て支援事業を含めた総合力で若者の転入促進に向け頑張りたい。

## 退職手当補正はなぜ

杉本正一委員  
退職手当を補正してあるが、予め積み立ててあるのではないかと。虎谷総務課長

12の市町で構成する退職手当組合の規約の改正に伴うものである。



この街がふるさとだよ。小さな胸にさざめく、ふるさとの記憶。心やすらぐ美しい海と豊かな緑。季節のうつろいを感じながら、自然の中でいっぱい遊んで、いっぱい笑って。広い空の下では、笑顔もひときわ輝くから。この目で一緒に育っていきこう、と決めました。

## 民有地借上げ補償は

金田委員  
民有地に看板や電柱を建てるときには、補償料を払っているのか。企画情報課長

民有地の借り上げに際しては、厚意で、そういった補償料を支払っていることはない。

宇野委員長

地方は人事院勧告を完全に実施したが、国はその分を復興財源に充てるということを理由に、給与改定は見送られた。そして若年層の俸給を2号俸アップするという

## 給与改定に考慮を

この前も金沢・津幡のほうから北上をしているという記事の掲載もあった。

そのあたりの調整を十分に調整するというものである。

総務課長  
国家公務員の給与に関する法律等々いわゆる関連4

## さらに情報発信を

多々見那次副委員長  
若者マイホームの取得状況は大変いい方向で進んでいる。金沢市議から、「金沢が頑張っても、かほくに取られる」という声も聞くが、これらのデータはどこかに載せてあるのか。

企画情報課長  
多分マスコミではないかと思う。

## 審査の結果

23年度一般会計補正予算 (第5号)  
23年度介護保険特別会計補正予算 (第2号)  
(以上2件、賛成4、反対1)

## 審査の結果

23年度一般会計補正予算 (第5号)  
23年度ケーブルテレビ事業特別会計補正予算 (第2号)  
税条例等の改正  
石川県市町村消防償い組合規約の変更  
石川県市町村退職者手当組合規約の変更  
(以上5件、全員賛成)

総務常任委員会

- 委員長 宇野 順一
- 副委員長 多々見那次
- 委員 寺内 照雄
- 杉本 正一
- 金田 正信
- 坂井 正毅

# 常任委員会レポート

## 市民文教常任委員会

3保育園(七塚南部・北部 宇ノ気南部) 平成25年春開園予定

## おもな質疑

竹内委員 (所管事項含む)  
高松南部と七塚中央保育園は順調に工事が進んでいる。次の保育園整備は、七塚南部・北部と宇ノ気南部保育園であるが、これら3園の工事及び開園予定はいくつあるか。

能任子育て支援課長  
現在は、七塚南部と北部において、本工事に着手する前の段階で、造成などの工事を行っており、3月までにこれを終了させ、24年度に3園の本工事を実施する。

開園は、25年度春を予定している。

別添委員  
特定不妊治療助成においては、助成拡充により利用者の増加となっており、子育て支援に寄与するものと高く評価する。

## 特定不妊治療助成の継続を

高橋副委員長  
七塚中央保育園建設事業に伴う公有財産購入に関して、現地視察の結果、購入が必要な土地であると判断するが、用地購入価格の算定はどのように行ったのか。

子育て支援課長  
不動産鑑定士による鑑定を参考として、予算計上を行った。

来年度以降も事業を継続すべきと考えるが、浅野健康福祉課長  
助成額の上限撤廃により、当初の15件から22件を見込み、今回増額補正するものであり、助成拡充の効果はある。来年度も続けて助成していきたい。

## 新たな教育を学校現場で

多々見武委員  
中学生の英語スピーチコンテストの実施。2分の1成人式(10歳)の実施。また、4不(不足・不便・不安・不自由)教育の実践を学校現場で行う考えは、宗慶学校教育担当課長  
今後、調査研究していきたい。

## 宇ノ気新化館に太陽光発電を

安達委員長  
宇ノ気新化館の耐震補強工事・大規模改修工事に際し、本建物は瓦屋根であり、太陽光発電を設置する場合、傾斜を設けるための架台を設置する必要がなく、太陽光発電に適していると思われるが、今回の耐震補強工事を実施することによって、将来的に太陽光発電施設を設置するだけの建物強度はあるのか。



耐震補強・大規模改修工事を行なう新化館

## 審査の結果

23年度一般会計補正予算 (第5号)  
23年度介護保険特別会計補正予算 (第2号)  
(以上2件、賛成4、反対1)

## 市民文教常任委員会

- 委員長 安達 肇
- 副委員長 高橋 成典
- 委員 別添 明敏
- 西田 正剛
- 竹内 幹雄
- 多々見 武

## 審査の結果

生涯学習センター条例及び市立図書館条例の改正  
少年愛護センター条例の改正  
社会福祉センター条例の改正  
看護師等の大幅増員と夜勤制限で安全・安心の医療・介護の実現を求める請願  
「介護職員待遇改善交付金事業」を平成24年度以降も継続することを求める請願  
(以上5件、全員賛成)

おもな質疑  
(所管事項含む)

杉本成一委員

今回除雪機を増車したが、建設業者との連携は、根布都市建設課長、建設業協会と5回対策会議を行い、現場の声を聴き、対策を練り、方向性を示した。昨年とは違った体系で行い、市民の要望に近づきたい。

荒井委員

除雪機の管理、使い方の指導は、

蔵谷都市建設課長補佐

これまでに10箇所できめ細かな講習を行った。少しでも慣れていただくのが最善と考え、少しの積雪でも動かしていただくようお願いしている。

沖津委員

上下水道を包括民間委託する計画があると聞いたが、

東谷上下水道課長、公共下水、上水道、農業集落排水の管理業務を包括委託すれば合理的

10月に専門家を交えた第1回目の検討委員会を開催した。

計画としては25年度から開始したい。今後も経過を逐次報告していく。

荒井委員

市内側溝改修工事が進んでいるが、危険な箇所が残っていると聞く、その対応は、

都市建設課長、基本的には地区の要望に優先順位をつけて報告して頂いたものを

市内バランスを考慮し、工事発注をしている。

緊急性のある箇所は直ちに

対応していく。

猪村委員長

バス営業費県補助金の用途は、

産業振興課長、現在看護大学バス停付近には街灯がなく、非常に危険であるため

ソーラー型LED防犯灯を設置するものである。

23年度一般会計補正予算(第5号)

23年度市営バス事業特別会計補正予算(第2号)

23年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)

23年度水道事業会計補正予算(第1号)

公共下水道条例の改正

市営住宅条例の改正

(以上6件、全員賛成)

審査の結果

- 23年度一般会計補正予算(第5号)
- 23年度市営バス事業特別会計補正予算(第2号)
- 23年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 23年度水道事業会計補正予算(第1号)
- 公共下水道条例の改正
- 市営住宅条例の改正
- (以上6件、全員賛成)



増車した除雪機

側溝改修工事順位は

緊急性のある箇所は直ちに

対応していく。

危険な東屋を解体

公園維持管理事業47

万円が計上されている

が、どのような事業か、

澤野産業振興課長、

木津まちなみ公園の

東屋の柱が腐食しており、非常に危険であると

判断しての解体撤去費用である。

今年は図書館前で

今年のカにカニ合戦は七塚庁舎駐車場で開催されたが、来場者への影響はなかったが、特に支障は無かったが、

今年の会場は再び図書館駐車場で開催する予定である。

- 産業建設常任委員会
- 委員長 猪村 博靖
- 副委員長 金子 猛
- 委員 杉本 成一
- 沖津 千万人
- 荒井 三喜雄
- 遠田 順

一般質問の成果を追跡 (愛知県大口町) 身近な話題を取り入れて (中日新聞本社)

広報特別委員会は、より良い議会だよりの編集発行を目指して、10月27・28日に大口町議会と中日新聞本社を視察研修した。

質問追跡コーナー

めにも数十枚を撮り、その中から選ぶようにアドバイスを受けた。私達が見習うべきものに、1年前の一般質問を追跡する「あれからどう

なった」のページがあり、毎回載せてあることに感心した。裏ページには「まちの元気者」のコーナーが設けられていて、広報委員



中日新聞本社にて

広報特別委員会



大口町 大口町議会広報常任委員会を視察。編集方針・編集スケジュール、レイアウトの設定の仕方、編集の留意点、発行経費、編集体制などを活発に意見交換をした。大口町議会広報も全国広報コンクールで再三優秀賞に選ばれているだけに、申し分の無いものであった。市民の皆さんを引き付けて読んで頂くためには、読者を引き付ける見出しを重視すればとの助言を頂いた。また、写真の重要性も指摘され、一枚の良い写真を得るた



大口町議会にて

新聞は見出しが命

かほく市の議会広報誌は議会広報誌としての役割は十分果たされて、内容も申し分ないとのことだが、新聞は見出しが命であり、どのような言葉を使うのか十分な検討が必要であるかを聞かされ、その点は議会広報も同じだと思つて、もう一ひねりあつても、との指摘があつた。

プロの新聞作りを学ぶ

研修終了後、新聞製作の現場を案内していただき、

実際に新聞作りの様子や印刷の工程まで見学することが出来た。

次号に、産業建設常任委員会と総務常任委員会の視察研修レポートを掲載する予定です。



# 議会活性化の取り組み及び議会運営を学ぶ

## （京都府舞鶴市議会・京丹後市議会）

議会運営委員会は議会運営などについて10月7日、舞鶴市議会、8日に京丹後市議会を視察研修した。

考人からの意見聴取後、いずれも先着順で40人、50人の市民及び議会議員を対象に専門家による講演会を開催している。

いづれもかほく市議会では未実施であり、早速、検討したい。

研修終了後、かほく市（旧高松）出身の多々見良三舞鶴市長と和やかに歓談し、有意義なひと時を過ごすことができた。



京丹後市議会にて

議員定数の検討  
議員報酬の検討  
政務調査費の検討  
議会の活性化の検討  
市民へのわかりやすさと市民参加の検討  
基本事項について  
平成19年12月議会までの委員会スケジュール骨子と改革工程表を作成している。

次に、具体的取り組みとして、全議員が全国的な議会改革の状況や課題について

### アンケートの実施

このように、着実に改革に取り組んできたことは全国的にも高い評価を受けている。

かほく市議会としても学ぶことが多く非常に意義深い研修であった。

また、平成23年1月〜2月にかけて、7会場で公聴会を実施し、議会に対しての市民の生の声を聞いている。

議会に対しての市民の意識・意向を把握し、議会改革の資料として活用するとともに、意見・要望を議会改革に反映することを目的に、市議会に関するアンケートを作成、実施した。その結果をアンケート調査結果報告書としてまとめた。

また、平成23年1月〜2月にかけて、7会場で公聴会を実施し、議会に対しての市民の生の声を聞いている。

# 議会運営委員会 視察研修レポート

舞鶴市議会  
最初に訪れたのは、舞鶴市で、行政区分においては中丹地区に属し、昭和18年5月に現在の舞鶴市が誕生している。

特に興味深く聞いたのは、舞鶴市議会では、平成22年2月に、議員協議会室にて先着順で40〜50人程度の傍聴席を設け、議会活性化に係る参考人招致・講演会の開催を行ったことである。

議会会派が5会派あり、各会派より各々推薦1名、NPO法人より3名選出し、議員定数などについて1人10分前後の意見を聴取した。議会運営委員会による参

### 議会改革特別委員会

京丹後市議会  
京丹後市は、平成16年4月に6町が対等合併して誕生した。

合併後2年が経過するなかで、市議会の活性化と改革に向けて、検討をすることを目的に、平成18年9月議会において、議会改革特別委員会

# 全国最先端の自然エネルギーと

## 震災からの復興対策を視察

### （岩手県葛巻町・宮城県角田市）

市民文教常任委員会は11月16日から18日までの3日間、被災地である宮城県名取市閉上地区の状況を視察した後、葛巻町と角田市で視察研修を行った。

#### 葛巻町

葛巻町は、クリーンエネルギーに積極的に取り組んでいることから、電力自給率は180%以上となっている。

これを対外的にアピールするため、積極的に視察を受け入れ、今年度は、福島第一原発の事故により、特に視察申し込みが多く、すでに250の行政視察を受け入れていることであった。

### 電力自給率180%の町

第三セクターで運営している「くすまき高原牧場プラター」にて、新エネルギーの説明と「プラター」

### エネルギー問題は自らの課題

今回の視察において、エネルギーの自立を図り、豊かな環境を未来の子どもたちに贈るため、自然エネルギー及び省エ



葛巻町ゼロエネルギー住宅の視察

葛巻町内の移動には大変時間を要するの驚いたが、このような自然環境が存続することからこそ、早くから自然エネルギーの活用に取り組んだのだと実感した。

福島第一原発の事故以降、エネルギー問題は、国や電力会社任せではなく、地方自治体においても、自らの課題として取り組む重要な課題である。

エネルギーに、町全体で取り組んでいる姿勢を学ぶことができ、大変有意義な視察研修であった。

角田市  
18日に訪れた角田市は、震度6弱を記録し、市の公施設や道路、河川などの社会インフラの被害総額は約48億5千万円にのぼり、さらに一般住宅は、全壊・半壊・一部損壊を合算すると、1千棟以上が被害を受けていた。

今後、福島第一原発による風評被害も懸念されている状況のなか、当委員会

の行政視察を受け入れてくださったことに、大変感謝するものである。

視察研修において、まず、震災被害及びその緊急対応についての説明を受けた。質疑では、この市町でも「地域防災計画」には災害発生時における議員の役割は何も示されていないが、実際災害が発生した時、議員はどのような行動をとったのかとの質問に対し、議員はそれぞれの地域における自主防災組織に入っており、住民組織の中で活動を行ない、中には山元町に一月以上通ってボランティア活動を行った議員もあられたことである。

### 【震災】その時議員は自主防災組織で活動

今回の視察においては、実際に被災した自治体の生の声を聞くことができ、大変有意義であった。今後、この研修成果を市政に反映させていく必要があると強く感じた。

# 市議会に関するアンケート調査ご協力のおかげ

市議会にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。



市議会では、これまで、開かれた議会、親しまれる議会を目指して、様々な改革を積極的に進めてまいりました。

その一環としてこの度、市民の皆様への議会に対するご意見やご提言をお聞きし、議会改革のための資料として反映いたしたく、『市議会に対する市民アンケート』を実施させていただき事としました。

本誌が皆様のお手元に届く頃には、市内全域から無作為抽出で20歳以上の方3000名の皆様に用紙を送付申し上げますので、対象となられた皆様には、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、今回のアンケートに関わらず、市議会に対するご意見、ご提案がございましたら遠慮なく議会事務局までお寄せください。

10月24日、河北都市議会議員研修会（1市2町議員51名）が、かほく市笠島（株）富士通ITプロダクツにおいて開催された。

同社は世界一の計算スピードを樹立した次世代スーパーコンピュータ「京」を製造したことで一躍有名になった企業である。

世界1位となった技術を応用し、今後も大学や研究機関などと提携し津波予測や新薬開発などへの貢献が期待されることを菅野代表取締役社長より説明を受けた。

工場見学では最新の生産設備やいたる所に掲示された行程表や改善事業などに深く感銘を受けた。

日進月歩のIT産業の中で、スピード不足は、時代遅れになってしまうことを痛感した。

同社の益々の発展を祈念申し上げます。

（株）富士通ITプロダクツ  
世界一のスーパーコンピュータ「京」  
その開発精神に学ぶ



## 河北都市議会議員研修会 かほく市で開催

# 行政施策の検証 若者マイホーム取得奨励金制度 市民インタビュー

議員が走る

今回は、行政が行うさまざまな施策・補助・助成などで、サービスを受けられた市民の方々がどのように感じられたかを聞いてきました。



小村恒一さん

「議員が走る」今回が初めての企画です。記念すべき第1回は「若者マイホーム取得奨励金」制度を利用され、津幡町から大崎に再び転入（Uターン）してこられた、小村恒一さんにインタビューさせていただきました。

Q 若者マイホーム取得奨励金の制度をご存知でしたか。

A 住宅メーカーから、聞きました。メーカーにどこにどのような助成があるのか調べていただき、かほく市にこの制度があることを初めて知りました。

Q この制度と併用して他の助成を受けられましたか。

A 太陽光発電とケーブルテレビの助成を受けました。市内建築業者利用の助成は住宅メーカーを決めた後知ったので受けられませんでした。木の家づくり奨励金は条件に合わなかったのを受けませんでした。



（インタビュー  
安達・金子議員）

Q かほくチャンネルは見られていますか。

A 「大崎の祭り」とか、かなり見えていますよ。

Q 引越させられてきて、他町との違いや戸惑い、要望などありますか。

A 今まで住んでいた所では資源ごみを常時出せる場所がありました。太陽光発電の助成は他の市町と比較すると少なかったです。自然エネルギーの助成にもっと力を入れてほしいですね。

切実に、子育てしやすく子どもが安全に通学できる環境や歩道整備などを望んでいます。

## 愛知県阿久比町議会が 広報特別委員会を視察



10月7日、愛知県阿久比町議会「議会だより」編集特別委員会5名が、当市議会広報特別委員会を訪れた。

当市の副議長の歓迎の挨拶にはじまり、阿久比町副議長・広報特別委員長より来市の挨拶の後、視察研修テーマである当市の「議会だより」の編集方法とDTP化についての概要説明をおこなった。

編集については、約60項目におよぶ作成過程の比較説明をおこなった。

DTP化については、当市では、議員みずから専用ソフトを使い印刷工程直前までのすべてを担うことで、コスト縮減を図りながらも、全ページフルカラーの紙面に成功していること、発行15日前に印刷業者へ電子データを渡すことの説明を詳細に行った。

### DTP化に興味示す

また意見交換では、委員会は5回開催し、レイアウト班と編集班に分かれ効率化を図っていること、これまで積み重ねてきた委員会の申し合わせ事項を遵守し、全議員が平等に掲載されているか、議会や議員活動がより解り易く親しまれる広報誌に編集されているか、互いの問題点、留意点、工夫点がだされ有意義な研修となった。